



目指す児童像

「かしこく、かっこよく」

し自然に親しむやさしい子  
じ自分で学び考える子  
き気力・体力を高める子  
小将来の夢をめざす子

令和8年 6月 9日  
平戸市立志々伎小学校  
校長 山田 泰生  
No. 14

読み語り



5月27日(水)に永田記念図書館の職員が来校され、読み聞かせをしてくださいました。今年度も、月に1回程度、読み語りしてくださいます。今回は、最初に「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」についての本の読み聞かせがありました。

次に、紙芝居の始まりには、6年生の〇〇〇〇さんが「拍子木」をカチカチと鳴らして始めました。昔は、紙芝居屋さんがこの拍子木をカチカチと鳴らしながら街をまわり、子どもたちに「紙芝居が始まるよ」と知らせる合図として使われていました。現代でも、大相撲の呼び出しなどに使われていますね。今回の読み聞かせは、昔の文化を体験することもできました。

ふるさとの恵みと感謝の心



6月8日(月)に〇〇さんの御厚意で、全校児童にいちご狩りを体験させていただきました。畑に足を運び、自分の手でいちごを摘み取るという経験は、日常の中ではなかなか味わうことのできない、貴重な学びの機会です。子どもたちの笑顔からは、その喜びと感動が伝わってきました。子どもたちは今回の経験を通して、多くの人に支えられて学校生活を送っていること、そして、自分たちの周りには思いやりにあふれた大人がいることに気付いたことと思います。ぜひ、この気付きを大切に、感謝の心をこれからの生活の中で生かしてほしいと願っています。また今回の体験は、ふるさとの良さを改めて感じる機会にもなりました。豊かな自然、地域の方々の温かさに触れた子どもたちの中に、「ふるさとっていいな」という思いがしっかりと芽生えてくれたのではないのでしょうか。

御協力いただきました〇〇さんに、心より感謝申し上げますとともに、これからも力いっぱい・笑顔いっぱいの学校づくりを進めてまいります。